

Q16 教材はどのように設定すればよいのでしょうか。



特別支援学級担任

困りのタイプ別の指導
で、それに合う教材を探
すのが大変です。

教材の設定が難しいこと
と、準備に時間を割けま
せん。



通級指導教室担当



特別支援学級担任

自分自身が持っている
教材のアイデアの引き
出しが少なく、どんな教
材がいいのか、適切で効
果的な教材を選ぶこと
が難しいです。

A 書籍やインターネット等で参考となる教材を検索すると共に、その児童生徒の学習上や生活上の困難の場面も教材として設定します。

自立活動は教科書がありませんし、児童生徒の個別の目標・内容等に応じた教材を、教師が独自に考えて設定しなければなりません。まずは、これまで行われた指導の教材を引継いで行うことから始め、指導の効果をみながら、徐々に自分で工夫した教材を導入していきましょう。教材の例が書籍やインターネット上でたくさん紹介されていますので、それを参考にし、また、市販の物を購入して有効に活用することも考えられます。

ただ、その際、参考とした教材をそのまま授業に持ち込んでも、指導の効果が上がらないことがあります。教材を工夫する一つの視点として、情報収集の中で明らかになった、その児童生徒の学習上や生活上の困難の場면을教材に持ち込むことが挙げられます。

例えば、対人関係に課題のある児童生徒が、市販のコミック会話やソーシャルスキルトレーニングのカードを使って学習する場合、その児童生徒が対人関係で課題があった実際場面に近いコミック会話やカードを重点的に取り扱ったり、その場面のロールプレイを仕組んだりします。

また、目と手の協応動作や視覚認知を高める指導内容に対して、市販のビジョントレーニングや認知機能強化トレーニング、パズル等の教材に加え、実際生活の中で困難が生じている、例えば、衣服のボタン留めやひも結び、文章の読み書き等の活動を並行させて仕組みます。

こうすることで、困りが生じている実際生活とのつながりを児童生徒が意識できるような、有効な教材とすることができます。

また、PDCAサイクルによる指導の検証を、題材(単元)ごと、学期ごとに行い、教材を見直していくことも大切です。

教材・支援機器の例や実践事例の例が多数紹介されています。特性やニーズに応じた検索ができます。

国立特別支援教育総合研究所
「特別支援教育教材ポータルサイト」

